

# 大会趣意書

## 全日本実業団少林寺拳法連盟設立50周年記念大会

### 和巖一心『一步踏み出せ仲間とともに、無限の可能性へ』

少林寺拳法は、1947年に創始者・宗道臣によって、人づくりの「行」として日本で創始されました。創始者は、敗戦直後の混乱期にある日本社会において「人づくりによる国づくり」を志し、「半ばは自己の幸せを、半ばは他人（ひと）の幸せを」の教えを多くの人々に説きました。

この教えを基本理念とする少林寺拳法は、「本当の優しさと強さ」を修める道として多くの人々の共感を得て、現在は世界に広く普及しています。

創始者の熱い思いを受け1970年に設立した全日本実業団少林寺拳法連盟は、関東、東海、関西、そして四国に各連盟が設立するとともに全国に実業団支部が多数誕生し、少林寺拳法の教えを職場で実践することで、社会において多くの人々から必要とされ、信頼されるリーダーを育成してきました。

現在、世界は指導者の「人の質」によって生み出される争いや問題が山積しており、真のリーダーシップのあり方が問われる時代となっています。また、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によって、従来の日常習慣が通用しなくなり、新たな環境や生活様式の急激な変化への適応が求められる社会へと移り変わりました。

そのような時代の中、私たち実業団拳士一人ひとは、社会の最前線である職域において少林寺拳法の教えを実践・実行することにより時代が求める真のリーダーとなる事を誓い、職域から社会、そして世界が真に豊かで平和となるよう、無限の可能性を信じて仲間とともに一步踏み出します。

この誓いを胸に、来る2022年10月9日（日）にベイコム総合体育館（尼崎市記念公園総合体育館）において、「全日本実業団少林寺拳法連盟設立50周年記念大会」を開催する運びとなりました。

全日本実業団少林寺拳法連盟一丸となって取り組み、日頃の修練の成果を発表するとともに、拳士同士の絆を深めて、少林寺拳法の輪を更に広げていきたいと思えます。

つきましては、日頃から少林寺拳法にご厚情を頂いております皆様方におかれましては、本大会の趣旨をご理解いただき、物心両面においてご支援とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

2022年5月吉日

全日本実業団少林寺拳法連盟設立50周年記念大会

大会会長 岡崎 淳一